



## 安積高校SSH第Ⅱ期目の最終年度が始まります

1年次の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは安積高校のSSH第Ⅱ期目の最終年度(5年次)の入学となりますが、ここまでの4年間で本校SSH事業も進化してきており、139期生の皆さんは先輩たちの取り組みや成果をふまえての活動となります。全員が取り組むものと希望者が取り組むものがありますが、その都度連絡をしていきますので、SSH通信や各種案内を見てください。

2年次・3学年の皆さん、進級おめでとうございます。2年次は「SS探究Ⅱ」となり、昨年度の取り組みをより深化させた、SDGsと関わる「グローバル探究」への取り組みとなります。本校の卒業生の中で「シニアサポーター」に登録いただいている方々にもご指導いただきながらの探究活動となります。SSクラスの皆さんは各自の探究活動が本格的に始まります。各種大会や発表会、学会などへの参加も昨年度以上に増えることと思いますが、本校SSHの発信をどんどん行ってもらえればと思います。また、3学年の皆さんは論文作成がメインとなりますが、ここまでの探究活動は1つの授業であると同時に、皆さんの進路実現にもつながっていくものであると考えています。今後の進路活動で文章を書く機会も多くなるとと思いますので、論文作成で文章作成能力を高めていってください。



↑  
本校学校WEBサイトの中に、SSHのページがあります。SSHでの取組の様子は実施後に紹介されます。

## 138期・1年次の探究活動をふりかえって

2年次全員が昨年度取り組んだ「SS探究Ⅰ」について、代表生徒に振り返ってもらいました(クラスは昨年度のもの)。

### 「1年次の探究を振り返って」

1年次のSS探究を振り返り、私が印象に残っていることはクラス発表会です。普段人前で発表することが少ないため、相手の目をみて発表することはとても良い機会となりました。初めてのことで不安もありましたが、発表が終わるごとに班のメンバーで反省点をあげ、次の発表に生かせるようにしました。回数を重ねるごとに上達することができたと思います。また予測していなかった質問がくることが多く、他の人に助けを求めることがほとんどでした。2年次の探究では質問を事前にある程度予測し、その知識を使って根拠のある回答ができるようにしたいです。他の班の発表を聞く際は、質問をすることがあまりできませんでした。発表を聞くことだけに集中せず、疑問に思ったことを積極的に質問できるようにしたいと思います。2年次はSSH生徒研究発表会を通して1年次よりも多くの人に探究の発表をします。1年次での反省を生かし、よりよい発表ができるようにしたいです。

138期(前)1年4組 Kさん (郡山五中)

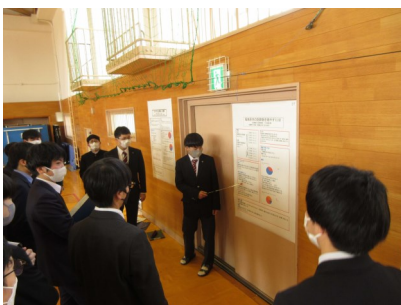
### 「1年次SS探究Ⅰで学んだこと」

1年次SS探究では、「地域創生探究」をテーマに、それぞれが興味のある分野の探究を行った。東北大学大学院の先生による講義では、研究とは何かということから、研究発表の仕方まで、探究活動において大切なことを学んだ。その講義を踏まえて、同じ興味のある分野を選んだクラスメイトと班を作り様々な活動を行った。

夏休み中には各班が分野に沿ったフィールドワーク(FW)場所に訪れ施設見学などを行い分野への理解を深めた。実物を自分の目で見て、その分野に携わっている方からの説明を聞き、質問をすることができてとても有意義な時間となった。

また、調べた事やFWで学んだ事をポスターにまとめクラスでポスターセッションを行った。クラス代表に選ばれた班は、2月25日に開催された安積高校SSH生徒研究発表会のポスターセッションで発表を行った。ポスターセッションでは学年・分野問わず様々な発表を見ることが出来た。他分野の理解だけではなくポスターの見せ方、発表の仕方の勉強にもなった。

138期(前)1年6組 Tさん (郡山ザベリオ中)  
" Sさん (郡山一中)



| 代表班    | テーマ              |
|--------|------------------|
| 1年1組4班 | 歴史に学ぶ、音楽の力で繋がる社会 |
| 1年2組3班 | エネルギー革命in福島      |
| 1年3組7班 | 高齢者の免許返納を早めるには   |
| 1年4組3班 | 福島県内の医師数を増やすには   |
| 1年5組3班 | これからのエネルギーのあり方   |
| 1年6組2班 | #郡山をバズらせたい       |
| 1年7組4班 | コロナが与える精神への影響    |

裏面につづく

# 広がれ！「競技科学」の輪！

国際科学技術コンテストに関する  
本校生徒が主催する学習会の案内



## 科学オリンピック

### ▼ 教科系コンテスト

日本数学オリンピック  
国際数学オリンピック (IMO)

化学グランプリ  
国際化学オリンピック (IChO)

日本生物学オリンピック  
国際生物学オリンピック (IBO)

全国物理コンテスト  
「物理チャレンジ」  
国際物理オリンピック (IPhO)

日本情報オリンピック  
国際情報オリンピック (IOI)

日本地学オリンピック  
国際地学オリンピック (IESO)

科学地理オリンピック  
日本選手権  
国際地理オリンピック (IGeo)



詳細は、国立研究開発  
法人 科学技術振興機構  
次世代人材育成事業の  
WEBサイト内を参照。

突然ですが「競技科学」ってご存じですか?!?

ここで述べる「競技科学」とは、現在日本で開催されている10個の科学系オリンピック(数学、物理、化学、生物、地学、地理、情報、哲学、言語学、天文学)に加え、Atcoderをはじめとした競技プログラミング、Online Math Contestをはじめとした競技数学、科学の甲子園などの大会からなる、自然科学に限らず幅広い範疇での人間の持つ科学の力を存分に用いて数多くのスポーツと同じように互いに競い合うことの出来るものです！

全国津々浦々にライバルがいて、己の実力を限界まで鍛え上げることにより国際大会への出場をも狙ってしまうものでもあったりします！がしかし、俗に言う中高一貫の超進学校の上位入賞ばかりであるという状況です……。また、国際大会メダリストの方々によると、やはり、関連する団体に所属して日頃から同じような仲間と切磋琢磨し、上位入賞をしたというケースが多数でした……。

僕自身、そういった理科系の部活への所属はしておらず、昨年度ひとつも上位大会への進出が叶わず、今年こそは入賞したいという思いが大きいのですが、1人で淡々とやり進めていくのも少々苦しい思いもありました。昨年度、科学地理オリンピックを受けた際、校内で、また他校との交流を持つての学習会を行ったのですが、そこでの交流が刺激となりましたし、議論の重要性を大きく感じるがありました。

そこで、僕と同じように競技科学で成績を残したいという同志を集めて、積極的な議論を行い互いに成長しようという目標のもと、競技科学研究会を立ち上げるに至りました。現在138期生6名で、数学、地学+天文学、地理、化学、物理、情報それぞれに特化した生徒がおり、幅広く実績を残したいという方や校外の方と学問面での交流の機会をつくりたい方など、興味がある方を募集しています！

今後の活動としては、本校がSSH指定校であるという強みを活かして、会内部での小講義(勉強会)、国際大会メダリスト(大学生など)へのインタビュー、模試の作成、国内選考突破に向けた合宿などを考えています。**本会への参加を希望される皆様、気軽に2年7組(SSクラス)へ足を運んで頂き、担当のWまで声をかけてください。**年次・学年は問いません。ご入会お待ちしております！

競技科学研究会 代表 2年7組 Wさん (郡山六中)

## 冊子の紹介

本校が主催し福島高校、ふたば未来学園高校と昨夏実施した「**国際高校生放射線防護ワークショップ**」の参加者が、報告書を発刊しました(左図)。このワークショップは、海外県外の高校生と共に震災とその後の福島の現状を学び発信しようというものです。コロナのため昨年は県外海外の参加はありませんでしたが、報告書の内容は学んだことをもとに、復興の取り組みや風評、福島からの発信や放射線教育などについての意見を、3校それぞれがまとめたものです。本校の参加者の1人で3年生のT君は「発表のために作成したプレゼンを文章化するのが大変だった。表現に偏りがなかったか、的確に伝わる文面になっているか、何度も見直した。ワークショップでたくさんの人に会い、多くを学び視野が広がった。ぜひ高校生のみなさんに読んで欲しい」と語る。



報告書の入手希望者は職員室の探究班(H)に申し出てください。

## 今後のSSH関係の主な行事日程・予告

### ◎SSH通信・WEBサイトについて

本校SSHの取り組みや成果を、校内のみならず外部にも広く発信していきます。各クラスの探究係やSSクラスの皆さんを中心に、生徒・教員みんなで作り上げていきます。こうご期待！

### ◎各クラス探究係への連絡

**4月27日(木)16:20に第2会議室(管理棟3階)**に集合してください(各クラス1人でも可)。応援歌練習の日程次第で変更することもありますので、その際はまた連絡します。

### ◎海外研修の概要説明・セレクション

今年度の海外研修については、5~6月に概要をお伝えしますが、今年度も「ドイツ」「フランス」を中心としながら、他国にも広げていく予定です。セレクションの日程は未定ですが、本校の企画する「国内研修」のいくつかに参加してもらうことがセレクション参加の条件になりますので、各クラスに配布される掲示物やSSH通信の内容をチェックしてください。

### ◎「未来の科学技術を担う人材育成のための少人数ゼミ」

今年度の第1回は、5月下旬~6月上旬に開催する予定です。昨年度は脳科学、香料、法律、美術、探検家、農業など、幅広い分野の先生方を講師としてお呼びし、「少人数」でのワークショップを中心に実施しました。今年度も引き続き各界からの講師をお呼びする予定です。テーマの希望も常時受け付け中です。

### ◎イベント及び大会等周知 Classroom

本校には様々なイベントや大会などの案内が届きます。参加費用などを補助できる企画を中心に連絡しようと思いますが、**紙版では限界があるため、告知用のGoogle Classroomを開設しました。**

希望者は、**5j5jy26**

(5・ジェイ・5・ジェイ・ワイ・2・6)を登録しておいてください。**右のQRコード**から登録することもできるようにしてあります。

